

<令和5年度事業計画> 特産品技術継承部会

☆剪定技術継承システムの設計・開発

7月3日（月） 委託業者公募予定

7月10日（月） 質問書受付期限

7月13日（木） 申込書提出期限

7月16日（日） 業務内容および見積書提出〆切

7月18日（火） 審査 委託業者決定

7月20日（木） 決定通知

事業期間 令和5年8月～令和6年1月末まで

事業内容

① 剪定技術者育成講習の構成の検討

昨年の調査・要望をくみ取り、剪定における基礎知識の説明や幼木（1年）から成木（8年）に至る成長過程など、多岐にわたる構成とする。

現在の紙面による育成講習に沿った、構成となるよう担当者を交え協議を行う。

② ビフォーアフター3D画像のデータ収集と活用計画

1) **基本樹形**～幼木から成木までの基本樹形（開心自然形）づくりに欠かせない「摘心・剪定・誘引」作業を段階的にビフォーアフター3D画像で製作。

2) **樹形維持**～樹形が完成した成木の樹形維持に欠かせない「剪定」作業をビフォーアフター3D画像で製作。

3) **応用樹形**～傾斜地や日光を考慮した応用樹形、または改造が必要な樹形も同じように製作する。

③ 3Dモデル作成

リアルさより、実用性・柔軟性を重視し、短い直線ラインを1本の枝とみなし（1～8年でラインの太さを変える）組み合わせ、それぞれの樹を生産者主導にて、PC上で製作できないか。専門家を交えシステム開発・検討を行う。

④ 剪定技術の教材用データを制作

システム使用者における剪定シミュレーションの開発・検討を行う。

☆農業用水の取水源の調査・検討会

- ①行政を交えた検討会の実施 水源確保について検討する
7月・9月・11月・1月 計4回

☆地域資源活用

- ①休耕地検討会 3地区別開催
- ②東米良梅の活用計画策定（クラウドファンディング・補助金…）
- ③東米良竹の活用の検討
- ④東米良しいたけの活用の検討
- ⑤東米良ジビエの活用（鳥獣被害対策部会合同）